

2022.06.26

私なりの英語学習法について

城西支部国際部 山崎薫

私は以前の仕事で、主に海外マーケティング、海外営業の業務に携わっておりました。入社した時点で英語ができたわけでもなく、語学系大学の出身でもなく色々な経験を踏まえて曲りなりに英語を使つての仕事をその後25年間にわたって行いました。その体験談や私なりの勉強法について紹介いたします。

1) 失敗体験：

その1：展示会でラスベガスに来ていて、日本人駐在員と東京からの出張者が一緒にランチタイムの時、ソフトドリンクをオーダーしました。私は元気な声で「COCA・COLA」と注文。ウェイトレスの女の子は「OK, HOT WATER」と返事してきました。一同爆笑です。アメリカでは「COCA・COLA」は通用せず、「COKE」と注文するとその時知りました。

その2：トロントでカナダの支社社長と課長と2件目のホテルのバーで軽くの飲んで帰りましょうという時、私は「WILD TURKEY with ice」と3回言いましたが全く通じません。日本人の苦手なW、L、Rの入っている発音は本当にダメでした。ちなみにSUPER MARKET チェーン店の「WOOL WORTH」はオーストラリア人には全く通じませんでした。また英語の堪能な日

本人上司の前で英語をしゃべる事、これが 20 代は本当にストレスで時々会議室を逃げ出したくなりました。

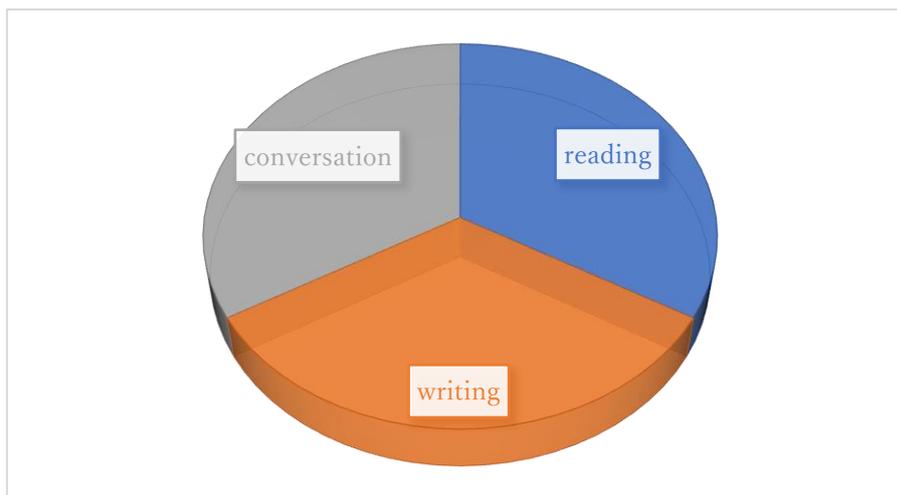
2) 体験と学習：

海外営業も 3-4 年たつと出張や会議、展示会の経験を通じて徐々に英語にも慣れてきました。L と R もなんとなく使い分けができるようになってきました。一番は単語のどこアクセントを置くのか、文章のどの単語を強調するのかを意識すると格段に通じると気が付いた時です。あとはとにかくたくさんしゃべってたくさん聞くことだと思いました。

私の学習方法は古典的ですが NHK のラジオテキストを使います。もう 30 年以上になります。NHK の講座はきめ細かくレベルが分けられていて、英語のレベルも高く、きちんとした英語を使っております。自分にあった講座を選択、継続することが大事です。注意してほしいのは自身のレベルより少し低い講座を選択することです。通常は少し背伸びして少しレベルの高い講座を選択してしまいがちですが、これはわかった気になっているだけです。少し下のレベルがきちんとわかるようになったら次のステップに行きましょう。また学習は朝行ってください。帰ってからやろうとしても人はやりません。今日は残業とか、飲み会とか色々理由をつけてやらないものです。あと効果があると思うのはディク

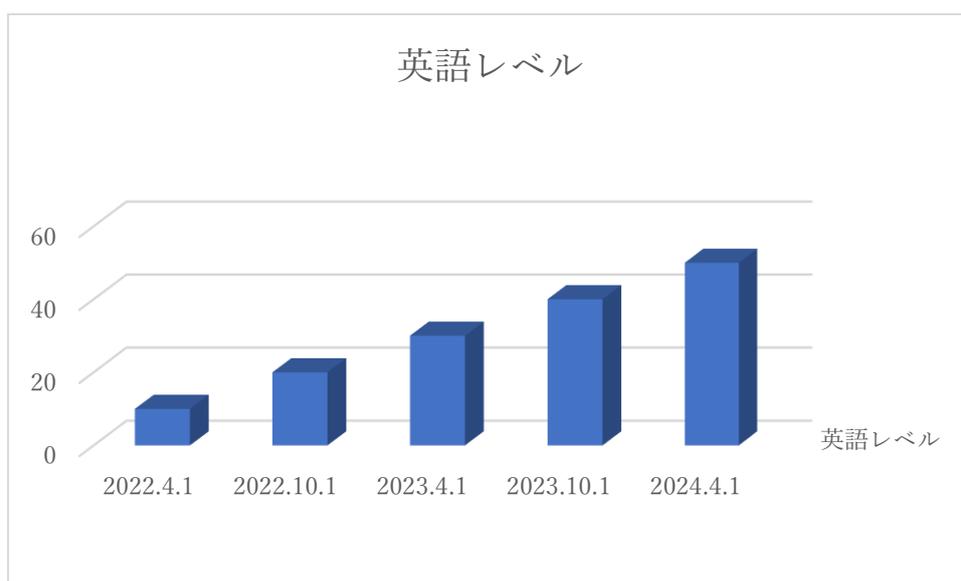
テーション (Dictation) です。聞いた英語の書き取りです。これで分かったつもりになっていた英語がわかっていなかったことがクリアになります。

よくあるケースが帰国子女とか語学留学経験者の方が会話はできるけど読む、書くことは苦手というケースです。特に読んで、書くということは自身の能動的な努力が必要になります。下図のようにこの 3 つをバランスよく力をつけることが大事です。私にとって一番難しいのは「書く」ことでした。そのためには正しい文章を繰り返し読んでみるのだと思います。



英語学習は診断士試験対策のように土日で10時間まとめて勉強するという方法は向かないです。それより平日朝とにかく20分、30分行うことが大切です。下図は仮に横軸に半年ごとの期間で、縦軸に英語の力と思って記載しております。私の印象で今まで聞き取れなかった単語や文章がある日突然聞きとれる、わ

かるようになる時があります。下図の棒グラフのイメージです。半年や一年後にポント次のステップに行く印象です。毎週少しずつ力がついていく右肩上がりの折れ線グラフではありません。次のステップにポント行く時が来るまでしつこく続けることが大事です。



3) 最後に：

今はNHK講座も聞き逃し配信を携帯で聞いたり、衛星放送を外国語で聞いたりできます。インターネットで格安の英会話講座もたくさんあります。20-30年前より学習する環境ははるかに整っています。あとは「継続は力なり」です。

以上

山崎薫